

平成 29 年度 I C T ・ 農 業 技 術 研 修 会 in 長 岡 開 催 要 領

1. 目的

担い手の高齢化や雇用の多様化など、将来の経営の不安等が危惧されるため、進歩著しい I C T 技術等を活用した農機・農業生産における新技術の開発による経営安定化が求められている。

農業における高生産・低コスト化は極めて重要であり、このため I C T 技術の活用取り組みや新たな農業機械の開発に関わる農研機構・農機開発メーカー等から情報提供、スマート農業推進の目的・目標などの示唆をいただき、今後の農業経営に資する。

2. 日 時

平成 30 年 1 月 23 日 (火) 13 : 30 ~ 16 : 35

3. 会 場

アトリウム長岡 (新潟県教職員互助会館) 2 階白鳳・天平

4. 研修内容

(1) 講義「遠隔操作による水田給排水の自動化について」

情報提供者 農研機構 農村工学研究部門

水利工学研究領域水利システムユニット上級研究員 中矢 哲郎 氏

内容 スマートフォンなどで水田の給排水を自動設定し、水管理の時間を減らすシステムを開発した。

(2) 情報提供 「バッテリー充電式の作業機について」

提供者 株式会社マキタ

株式会社丸山製作所

内容 リチウムバッテリーの特徴及び活用した作業機を紹介します。

(3) 講義「高速高精度汎用播種機の構造と性能について」

情報提供者 農研機構 農業技術革新工学研究センター

ユニット長 塚本 茂喜 氏

内容 稲、麦、大豆等の多様な作物に適応するとともに、作業速度が速く、点播が可能で、不耕起栽培にも可能な播種機の開発・改良を行っています。

(4) 講義「営農支援システムを活用した農場管理について」

情報提供者 ・ウォーターセル株式会社

・ソリマチ株式会社

内容 「アグリノート」・「フェースファーム」の新たな活用による農業支援を紹介します。

※ 研修項目は、都合により予告なく変更する場合があります。あらかじめご承知おき願います。

5. 全体スケジュール (仮)

時 間	内 容
13:30	開会
13:35 ~ 14:45	講義「遠隔操作による水田給排水の自動化について」
14:45 ~ 15:05	情報提供「バッテリー充電式の作業機について」
	休憩 (10分)
15:15 ~ 15:50	講義「高速高精度汎用播種機の構造と性能について」
15:50 ~ 16:30	講義「農業支援システムを活用した農業管理について」
16:30 ~ 16:35	その他 情報提供
16:35	閉会

6. 対象者

新潟県農業法人協会会員、県内農業経営者、農業関係機関・団体、
農業機械メーカー、事務局、その他

7. 参加申込方法・期限

JA グループ新潟担い手サポートセンターに 1月10日(水) までに申し込む。

以 上

「平成 29 年度 ICT・農業技術研修会 in 長岡」 参加申込書

平成 年 月 日

J A グループ新潟担い手サポートセンター 渡辺 行き

FAX : 0 2 5 - 2 2 7 - 1 1 7 1

E-mail : houjina@ja-niigata.or.jp

団体名 : _____

記入者 : _____

TEL : _____

団体名	氏名	職名	備考

申込期限 平成 30 年 1 月 10 日 (水)

《会場アクセス》

